

## 農業共済新聞 千葉版

掲載号	3 月 4 週号	
筆者	所属	農林総合研究センター
	職名及び氏名	上席研究員 本居 真一
題名	ベゴニア新品種「プリンセスファンタジー」の育成	
備考	【写真説明】「プリンセスファンタジー」	

### 【本文】

千葉県はベゴニアの新品種「プリンセスファンタジー」を育成し、今年度品種登録出願しました。この春から一般向けに販売が開始されます。「プリンセスファンタジー」は、球根ベゴニアの一種で、平成16年6月に品種登録した「コーラルファンタジー」の突然変異から生まれました。これまでに、同様の突然変異から「クリーミーファンタジー」、「アプリコットファンタジー」の2品種を育成しており、今回でファンタジーシリーズは4姉妹となります。

「プリンセスファンタジー」の大きな特徴は、これまでのファンタジーシリーズと同様、花着きが非常に良く、枝を伸ばしながら節ごとに次々に花を咲かせていくことです。花色は「コーラルファンタジー」が濃いピンク色であるのに対して、「プリンセスファンタジー」は淡いピンク色、雄花は八重咲きでボリューム感があります。花の時期は春から秋ですが、加温・電照を行うことで1年中咲かせることもできます。また、球根ベゴニアの一種ではありますが、生産にあたっては、挿し芽や葉挿しなどで繁殖させることができるのも大きな特徴です。

栽培上、特別な注意を要することはありませんが、エラチオールベゴニアなどと比べると日光を必要としますので、日当たりのよい場所に置くことが大切です。しかし、夏の暑さにはやや弱いので、梅雨明け後は半日陰の涼しい場所に置き、枝を半分から3分の1ほどに切り戻しておくこと、秋の花をより楽しむことができます。



「プリンセスファンタジー」